



トキの餌場となる水田生物多様性の取組

中間農業地域

しょうみょうじ

さとし

正明寺地域資源保全会（新潟県佐渡市）

- 本地域は、小佐渡東部から国仲平野にかけて広がる水田地帯で、トキの野生復帰ステーションが設置され、トキの放鳥を実施。トキを目当てにした島外からの観光客が増加。
- 本制度により、生物調査等の環境保全活動やそば祭り等の地域住民との交流活動、トビシマカンゾウの植栽による景観形成を実施。また、担い手の農地周りの施設を集落ぐるみで保全管理。
- 多様な水田生物の生息環境が維持され、トキの生息環境が向上。トキをシンボルにした認証米の栽培等を支援。また、交流活動等を通じたコミュニティ機能の向上や共同活動による担い手である農業生産法人の負担が軽減。

【地区概要】

- ・取組面積 63ha（田63ha）
- ・資源量 開水路10.0km、農道11.0km
- ・主な構成員
自治会、婦人会、青年会、
集落長、OB会
- ・交付金 約3百万円（H29）
〔 農地維持支払
資源向上支払（共同） 〕

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、小佐渡東部から国仲平野にかけて広がる水田地帯であり、トキの野生復帰ステーションが設置されている。
- トキ放鳥以前から、トキの餌生物の確保のため、減農薬米栽培にも取り組む。
- 平成20年度のトキ放鳥や平成23年度の世界農業遺産認定を契機に、島外からの観光客が増加。
- 平成19年度からは、農地・水・環境保全向上対策に取り組み、農村環境を向上。



正明寺の上空を舞うトキ

取組内容

- 生物調査、除草剤を使わずに草刈りする等の施設の維持管理を実施。



スロープ水路を活用するサドガエル（固有種）



農業者がトキと生き物を守る農法を説明



地域内の交流を深めるそば祭りの様子

- そば祭りや講演会等の地域住民との交流活動や市の花であるトビシマカンゾウの植栽による景観形成を実施。
- 担い手の農地周りの施設を集落ぐるみで保全管理。

取組の効果

- トキの餌となる多様な水田生物の生息環境が維持。トキが餌場として利用する頻度が増加。

〔・生きもの調査の結果：H19年度17種→H27年度20種〕



採餌地点分布（環境省提供）（赤が濃いほど出現頻度が高い）

- 佐渡市の「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」の認証米の栽培を支援。
- 活動を通じて生物の知識を習得した農業者が、修学旅行の受入れや観光客向けにガイドを行い、農村環境をPR。
〔・修学旅行の受入れ：H23～27年度でのべ250人
・観光客向けガイド：H26～27年度でのべ680人〕
- 交流活動等により、地域資源の保全管理に関する理解が非農家を含めて醸成し、コミュニティ機能が向上。
- 共同活動により、施設の機能が維持され、地区内の農地の約8割を引き受けている農業生産法人の負担を軽減。



砂丘地における防風林の保全管理

平地農業地域

よのづ

さかいし

米納津農地を守る会（福井県坂井市）

- 福井県北部の三里浜砂丘地に位置し、畑地帯総合整備事業により整備された畑で、施設野菜や露地野菜等が栽培されている。
- 砂丘地であることから、水路等への飛砂対策が地域の課題であり、水路の泥上げ等について、多面的機能支払交付金を活用して取り組んでいる。
- また、本地区においては、農地の表土の飛散や作物の風害の緩和のため、防風林の存在が重要であり、ほ場に隣接する防風林の管理についても本交付金を活用している。

【地区概要】

- ・取組面積 96ha(田10ha、畑 86ha)
- ・資源量 開水路11.3km、農道8.7km
- ・主な構成員
農業者、非農業者、自治会、老人会、農家組長会、女性部、子供会、その他
- ・交付金 約3百万円(H29)
〔 農地維持支払
資源向上支払(共同) 〕

地域の状況



砂丘地の様子

- 砂丘地であることから、らっきょう、大根、メロン、スイカ、かんしょ等の水はけが良く砂地に適した作物が栽培。
- 砂地であることから、農地の風食を守る防風林は、地域の重要な施設となっているが、近年、松食い虫による「マツ枯れ」の被害が増加。

主な取組内容



水路の泥上げ

- 水路や農道側溝に、砂丘地からの飛砂が堆積し、水路の通水機能が低下。
- このため、多面的機能支払交付金を活用し、地域共同の活動により、水路の泥上げを実施。



防風林の保全管理

- ほ場に隣接する防風林について、多面的機能支払交付金を活用し、枝払いや下草刈り等を実施。
- また、これら防風林への松食い虫による被害を軽減するため、被害木の調査、伐採、搬出、焼却、防除薬散布等を実施。